

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年8月5日

上場会社名 アイコム株式会社

（コード番号：6820 東証第1部・大証第1部）

（URL <http://www.icom.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 井上 徳 造 TEL：(06) 6793 - 5301（代表）  
 責任者役職・氏名 代表取締役専務 福井 勉  
 経 理 部 長

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：無

2. 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

（1）売上高

	百万円	%
平成16年3月期 第1四半期	5,938	-
平成15年3月期 第1四半期	-	-
（参考）平成15年3月期	26,665	2.5

（注）1.記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

2.パーセント表示は、前年同期・前年同四半期比増減率を示しております。

3.四半期業績開示は当期より実施しておりますので、前年同四半期の業績の記載及び増減率につきましては記載しておりません。

〔品目別売上高〕

（百万円）

事業の種類別セグメントの名称	品 目	当該四半期
		自平成15年4月1日 至平成15年6月30日
無線機事業	アマチュア用無線通信機器	1,300
	陸上業務用無線通信機器	2,011
	海上用無線通信機器	761
	その他	1,241
	小 計	5,315
コンピュータ事業	無線LAN機器・DOS/Vパーツ	623
合 計		5,938

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

[ 売上高に関する補足説明 ]

当第 1 四半期のわが国経済は、個人消費や雇用環境の低迷が続き、長期化するデフレ不況や世界経済に対する先行き不安から、不透明な状況で推移しました。

このような状況の下で、無線機事業はイラク戦争や新型肺炎 S A R S の影響が懸念されたものの比較的早期に収束したことから、海外市場では 6 月に入って業務用無線機がセキュリティ市場向を中心に堅調に推移しました。又、地域別ではロシア、中近東向け等が好調となりました。国内市場においても、本年度より一層注力しております業務用無線機の販売強化策の効果も表れてきました。

コンピュータ事業では、優れたセキュリティ機能を特色とする無線 LAN 製品を主にビジネスユーザーに対して拡販に注力しました。長期商談となる案件も多くありますが、売上高は増加傾向にあります。又、商品売上につきましては収益性の観点から政策的に縮小の方向にあります。

以上により、平成 16 年 3 月期第 1 四半期の連結売上高は、59 億 38 百万円となりました。

[ ご参考 ]

連結経営成績

( 百万円 )

	売上高	営業利益	経常利益	税金等調整前当期純利益
平成 16 年 3 月期 第 1 四半期	5,938	684	800	787
平成 15 年 3 月期 第 1 四半期	-	-	-	-
( 参考 ) 平成 15 年 3 月期	26,665	3,314	2,428	2,293

( 注 ) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

( 2 ) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想 ( 平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日 )

( 百万円 )

	売上高	経常利益	当期純利益
中 間 期	13,180	1,420	800
通 期	28,150	3,070	1,770

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

当該四半期における業績は、概ね予想通りに推移しており、前回公表 ( 平成 15 年 5 月 20 日 ) の中間期及び通期の業績予想に修正はありません。